

**町角シート
デザイン集
vol.1**

住まい通販ネット

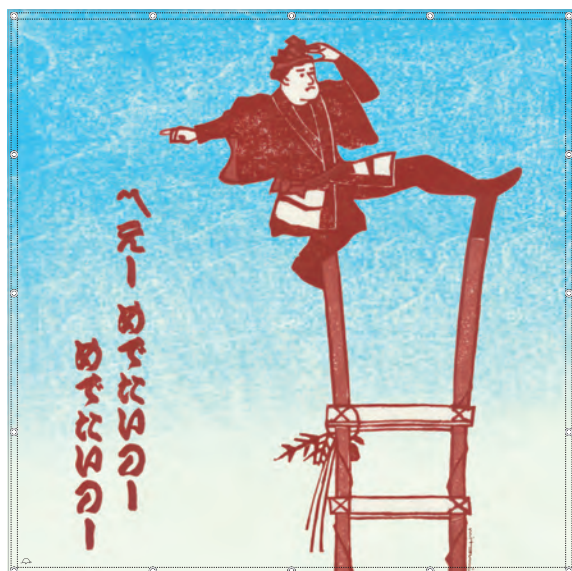
手の物語
tenomonogatari.jp



たかだみつみ 創作木版画家

新潟県長岡市生まれ。東京伝統木版画版元勤務を経て 現在、創作木版画家として活動中。また、イラストレーションやデザイン等も手掛ける。「身近なものを大切に愛おしんで丁寧に生きる。」をコンセプトに作品制作をしている。長岡造形大学 非常勤講師。

江戸の職人～三代目広重～



tm001



tm004



tm002



tm003

当時の職人たちの威勢のいい声が聞こえてくるようだ。

このシートが、現代の職人さんたちを鼓舞し、町にも活気が伝わることを願って。

(元絵：三代目歌川広重「東京名所八代洲町警視庁火消出初階子乗之図」)



渡邊良重 アートディレクター／デザイナー

DRAFTを経て、植原亮輔とともに2012年にKIGIを設立。D-BROSのブランドディレクション・商品開発を発足時から現在まで務め、「ほぼ日」とファッションブランドのCACUMAを、滋賀県の伝統工芸職人たちとプロダクトブランドのKIKOFを立ち上げるほか、作品制作をして展覧会を開催するなど、クリエイションの新しいあり方を探し活動している。

Listen to me 1



wy001



wy002



wy007



wy004

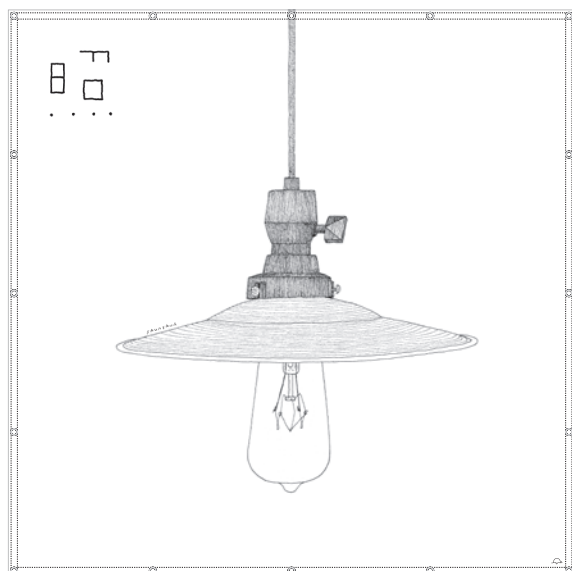
私の事務所には猫が一匹います。人間たちの目をじっと見つめ、「話を聞いて」といろいろな声で話しかけてきます。そんなふうに、どんな動物とも目を合わせ声を聞き、心を通わせたいものです。



しゅんしゅん 素描家

1978年高知生まれ、東京育ち。大学で建築を学び、建築設計の仕事を経て、素描家として独立。2012年に広島へ移住。全国で個展を行うほか、書籍、広告の仕事も多数。素描とは、素直に、素朴に、素早く、描くこと。風景をなぞるように、ただ素を、描写したい。

暮らしの道具



sy001



sy002



sy003



sy004

昔から人々の生活に寄り添ってきた 簡素で質素な暮らしの道具
優しく包み込むお椀 人の心を温かく照らす灯り 清潔に保つ箒
すべてを許容する大きなバケツ 椀も灯も箒もまるで家のように



味岡伸太郎 美術家

1949年愛知県豊橋市生まれ。「美術に係わることでデザインが大衆に迎合しない。デザインに係わることで美術が社会との接点を見失わずにすむ。美術とデザインが造る山の稜線上を歩け。どちらへ足をとられても谷に落ちる」—— 画家・山口長男からの言葉を活動の原点とし、精神的にも、物質的にも自然を主題にした美術とデザインを並行して続けている。

花頌抄 1



連休近しカミツレの花次々咲き

as003



水底に動くものあり半夏生

as004



露草や水滴残るガラス瓶

as001



金網の籠寒菊の咲き乱れ

as002

「^{はなしょうしょう}花頌抄 1」は一年と二ヶ月、野に咲く花を摘み、活け、それを、写真に撮り続け、俳人はその全てに句を詠んだ。総点数は千を優に越える。花を愛でた一年の記録。



宮田香里 イラストレーター

1973年、愛知県豊橋市生まれ。京都造形芸術大学卒業。2000年よりイラストレーターとして活動を始め、書籍、広告、商品パッケージ等のイラストレーションを制作。挿絵に、『夢見橋』『いるかの手紙』『三河の旗本退屈男』（春夏秋冬叢書）、『仏像の見方がすぐわかる本』（主婦と生活社）、『古寺のひみつ』（永岡書店）など。

源氏物語



mk001



mk002



mk003



mk004

『源氏物語』の一場面を、色鮮やかなイラストにて制作。



たかだみつみ 創作木版画家

新潟県長岡市生まれ。東京伝統木版画版元勤務を経て 現在、創作木版画家として活動中。また、イラストレーションやデザイン等も手掛ける。「身近なものを大切に愛おしんで丁寧生きる。」をコンセプトに作品制作をしている。長岡造形大学 非常勤講師。

江戸の職人～北斎～



tm005



tm006



tm007



tm008

昔から人々の生活に寄り添ってきた当時の職人たちの威勢のいい声が聞こえてくるようだ。このシートが、現代の職人さんたちを鼓舞し、町にも活気が伝わることを願って。(元絵：葛飾北斎「北斎漫画」)



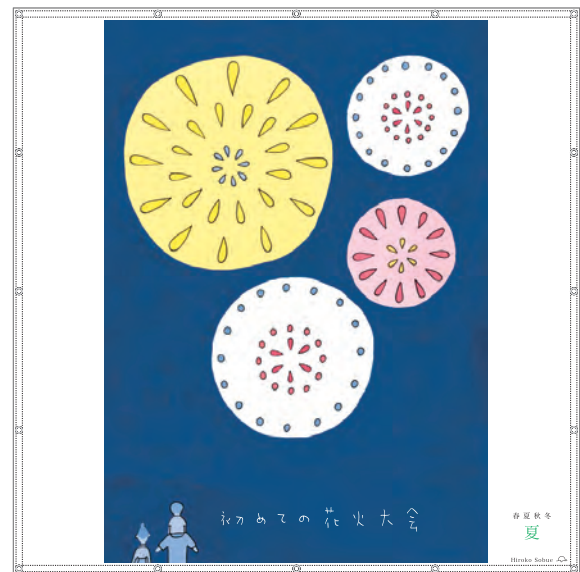
祖父江ヒロコ イラストレーター

1971年生まれ。パレットクラブスクール受講。01、03、07年HBギャラリーにて個展。
主な仕事は、書籍、雑誌、広告、web等です。今は、子どもが小さいからこそ見える景色
が描けたらなあと思っています。

春夏秋冬 1



sh001



sh002



sh003



sh004

「二十四節気」をテーマに、子どもと過ごす日常を描いたうちの4枚です。
この作品の制作を通して、普段なら見過ごしてしまいそうな事柄にいろいろ
と気付くことが出来ました。



永井明人 イラストレーター

1954年静岡県袋井市生まれ。工業高校デザイン科を卒業後に上京、グラフィックデザインの基礎と、人生の様々な教訓を学ぶ。広告制作会社のデザイナーを経て、イラストレーターとして独立、現在に至る。袋井市在住、老いと戦う63歳。

森のガードマン(フクロウと仲間達)



na001



na002



na003



na004

宝石のような大きな瞳と、身に纏った芸術品のような羽毛。初めて間近で見たフクロウ達の美しい姿に心を奪われた体験を、どこかの町角で再現できたらと思います。



渡邊良重 アートディレクター／デザイナー

DRAFTを経て、植原亮輔とともに2012年にKIGIを設立。D-BROSのブランドディレクション・商品開発を発足時から現在まで務め、「ほぼ日」とファッションブランドのCACUMAを、滋賀県の伝統工芸職人たちとプロダクトブランドのKIKOFを立ち上げるほか、作品制作をして展覧会を開催するなど、クリエイションの新しいあり方を探し活動している。

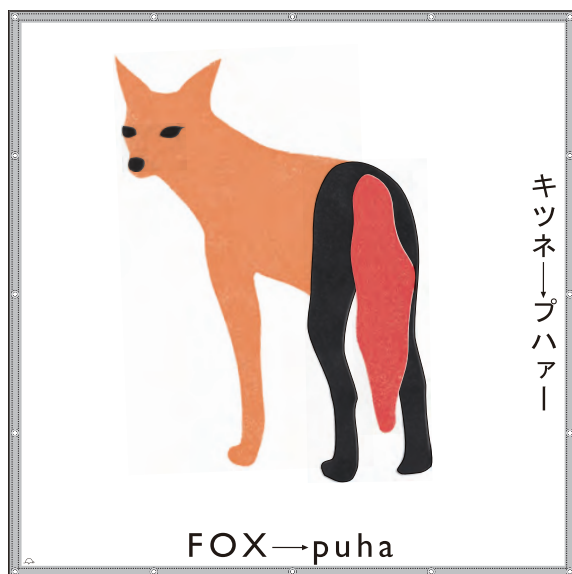
Listen to me 2



wy005



wy006



wy003



wy008

私の事務所には猫が一匹います。人間たちの目をじっと見つめ、「話を聞いて」といろいろな声で話しかけてきます。そんなふうに、どんな動物とも目を合わせ声を聞き、心を通わせたいものです。



鳥居ひろみ ボタニカルアーティスト(植物画家)

愛知県生まれ。グラフィックデザインを学び、広告代理店に入社、その後フリーに。2000年～企画展・グループ展に出品(東京・横浜・名古屋・静岡他)。2014年国立科学博物館植物画コンクールで文部科学大臣賞受賞。2016年米国ピッツバーグHunt Institute第15回ボタニカルアート&イラスト国際展に出品、同作品永久収蔵。日本植物画倶楽部会員。

ボタニカルアート—町角の植物図鑑



th001



th002



th003



th004

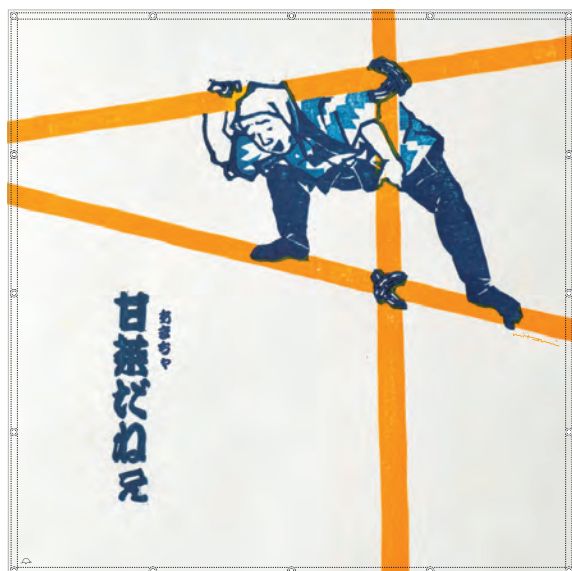
植物の特徴と成長の変化を、1枚の紙に描くと仕上がりは半年以上先になります。正確さだけではなく、観察を通して感じる様々な事を、一緒に表現したいと思っています。



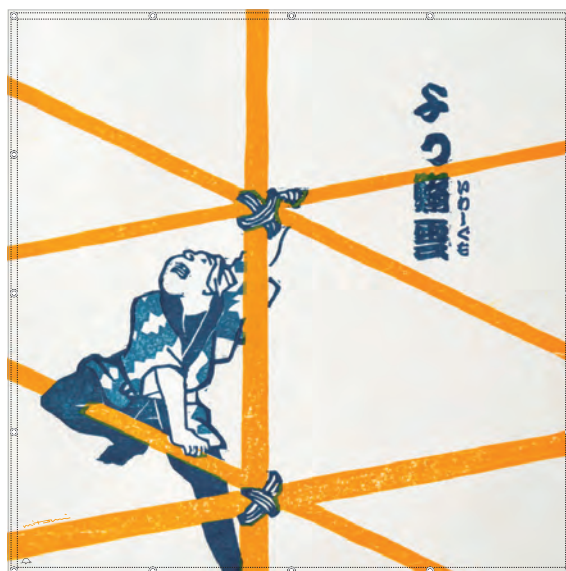
たかだみつみ 創作木版画家

新潟県長岡市生まれ。東京伝統木版画版元勤務を経て 現在、創作木版画家として活動中。また、イラストレーションやデザイン等も手掛ける。「身近なものを大切に愛おしんで丁寧に生きる。」をコンセプトに作品制作をしている。長岡造形大学 非常勤講師。

江戸の職人～国貞～



tm013



tm014



tm015



tm016

昔から人々の生活に寄り添ってきた当時の職人たちの威勢のいい声が聞こえてくるようだ。このシートが、現代の職人さんたちを鼓舞し、町にも活気が伝わることを願って。(元絵：香蝶楼国貞「大工上棟之図」)



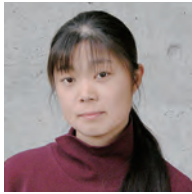
味岡伸太郎 美術家

1949年愛知県豊橋市生まれ。「美術に係わることでデザインが大衆に迎合しない。デザインに係わることで美術が社会との接点を見失わずにすむ。美術とデザインが造る山の稜線上を歩け。どちらへ足をとられても谷に落ちる」—— 画家・山口長男からの言葉を活動の原点とし、精神的にも、物質的にも自然を主題にした美術とデザインを並行して続けている。

花頌抄 2



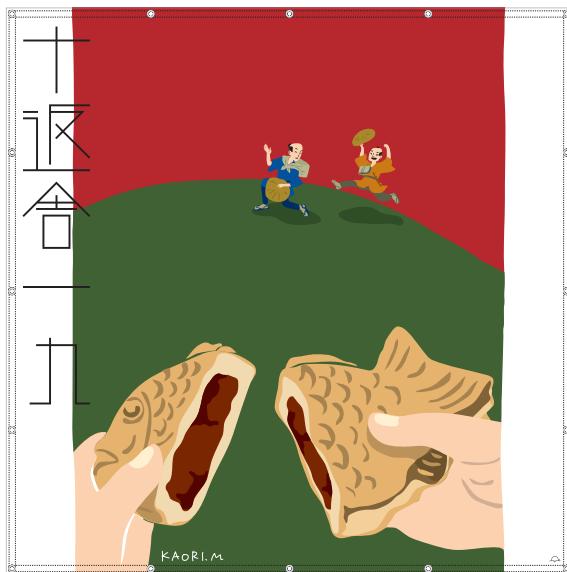
「花頌抄 2」は一年と二ヶ月、野に咲く花を摘み、活け、それを、写真に撮り続け、俳人はその全てに句を詠んだ。総点数は千を優に越える。花を愛でた一年の記録。



宮田香里 イラストレーター

1973年、愛知県豊橋市生まれ。京都造形芸術大学卒業。2000年よりイラストレーターとして活動を始め、書籍、広告、商品パッケージ等のイラストレーションを制作。挿絵に、『夢見橋』『いるかの手紙』『三河の旗本退屈男』（春夏秋冬叢書）、『仏像の見方がすぐわかる本』（主婦と生活社）、『古寺のひみつ』（永岡書店）など。

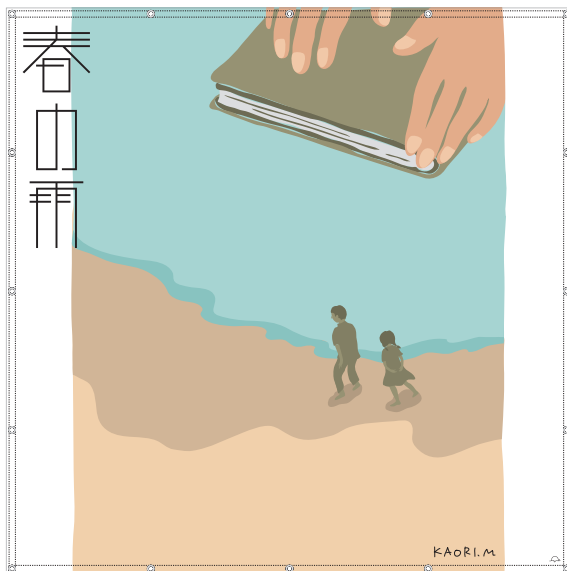
「文字」を詠む



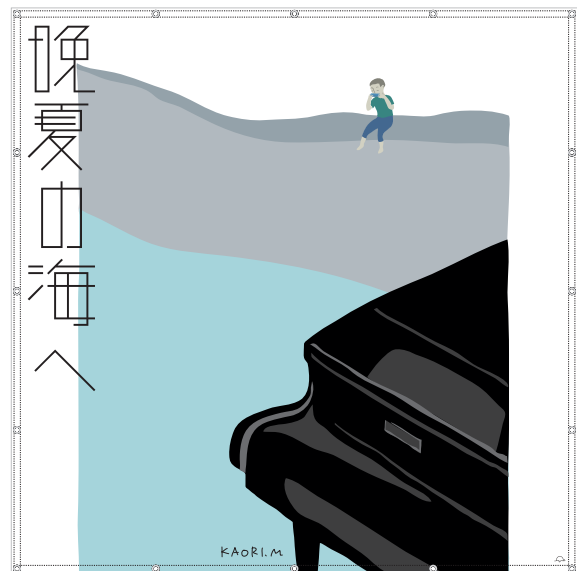
mk005



mk006



mk007



mk008

季刊誌『そう』（発行：春夏秋冬叢書）に掲載された俳句の挿絵より。現在までに約50作品を制作。



たかだみつみ 創作木版画家

新潟県長岡市生まれ。東京伝統木版画版元勤務を経て 現在、創作木版画家として活動中。また、イラストレーションやデザイン等も手掛ける。「身近なものを大切に愛おしんで丁寧生きる。」をコンセプトに作品制作をしている。長岡造形大学 非常勤講師。

里山の色 1



tm009



tm010



tm011



tm012

びお連載「里山の色」から。古くから日本の人々の生活に寄り添ってきた里山の在来植物には、温かさや優しさの中に凛とした強さがある。このシートが生活の彩りの一つになれることを願って。



祖父江ヒロコ イラストレーター

1971年生まれ。パレットクラブスクール受講。01、03、07年HBギャラリーにて個展。
主な仕事は、書籍、雑誌、広告、web等です。今は、子どもが小さいからこそ見える景色
が描けたらなあと思っています。

春夏秋冬 2



sh005



sh006



sh007



sh008

「二十四節気」をテーマに、子どもと過ごす日常を描いたうちの4枚です。
この作品の制作を通して、普段なら見過ごしてしまいそうな事柄にいろいろ
と気付くことが出来ました。



味岡伸太郎 美術家

1949年愛知県豊橋市生まれ。「美術に係わることでデザインが大衆に迎合しない。デザインに係わることで美術が社会との接点を見失わずにすむ。美術とデザインが造る山の稜線上を歩け。どちらへ足をとられても谷に落ちる」—— 画家・山口長男からの言葉を活動の原点とし、精神的にも、物質的にも自然を主題にした美術とデザインを並行して続けている。

花頌抄 3



巨勢山のつらつら
椿籠の中

as012



ぞろ あら
朧粗く盛る菜の花の午前かな

as009



ドラム罐ころがして置く鉄線花

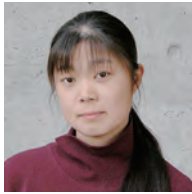
as010



朝顔や常滑の壺分厚かり

as011

「花頌抄 3」は一年と二ヶ月、野に咲く花を摘み、活け、それを、写真に撮り続け、俳人はその全てに句を詠んだ。総点数は千を優に越える。花を愛でた一年の記録。



宮田香里 イラストレーター

1973年、愛知県豊橋市生まれ。京都造形芸術大学卒業。2000年よりイラストレーターとして活動を始め、書籍、広告、商品パッケージ等のイラストレーションを制作。挿絵に、『夢見橋』『いるかの手紙』『三河の旗本退屈男』（春夏秋冬叢書）、『仏像の見方がすぐわかる本』（主婦と生活社）、『古寺のひみつ』（永岡書店）など。

四季の花



mk009



mk010



mk011



mk012

四季の花を添えた人物シリーズ約130作品の内の4点。



木下俊司 イラストレーター

1953年生まれの愛されて64才。世界一小さいデザイン会社(有)エスアイの社長兼社員。寅さんが亡くなられ、サインをするときは“Tora”と名前をいただくことにしました。趣味はモータースポーツ(オートバイ)。テーマは“人生はエンデュロ”“雨のちハーレー”。肩の力を抜いて、もう一花咲かせようともくろんでいる今日この頃です。

四季折々



ks001



ks002



ks003



ks004

これから、この地に生まれこの地に根付くわが家。その完成までのプロセスを飾り、日々目に映るこの「町角シート」に、日本の彩り満ちる四季折々の豊かな表情を感じていただければ幸いです。



斉藤弥世 イラストレーター

1983年、静岡県生まれ。12年こっそりごっそりまちをかえよう。(三浦丈典著 彰国社)
の挿絵を担当。その他、装画、四コママンガなどを制作。

はなおくんの王国



sm001



sm002



sm003



sm004

4年前、畑にひょっこり表れたはなお君。今ではすっかり家ネコになりましたが、
畑で暮らしていた頃は、何を考えていたのだろうと考えながら描きました。



たかだみつみ 創作木版画家

新潟県長岡市生まれ。東京伝統木版画版元勤務を経て 現在、創作木版画家として活動中。また、イラストレーションやデザイン等も手掛ける。「身近なものを大切に愛おしんで丁寧生きる。」をコンセプトに作品制作をしている。長岡造形大学 非常勤講師。

里山の色 2



tm017



tm018



tm019



tm020

びお連載「里山の色」から。古くから日本の人々の生活に寄り添ってきた里山の在来植物には、温かさと優しさの中に凛とした強さがある。このシートが生活の彩りの一つになれることを願って。